

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市立博物館協議会		
事務局 (担当課)	生涯学習部博物館 電話042-750-8030		
開催日時	令和3年3月24日(水)～3月28日(日)		
開催場所	書面会議		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	5人(博物館長、他4人)	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	—
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由	書面会議のため		
会議次第	1 あいさつ 2 議題 (1) 相模原市立博物館活動評価書について (2) その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の意見、●は事務局の説明)

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み、対面での会議を避け、議決の方法等について事前に取り決めを行った上で、書面により審議会委員等の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

2 議 題

(1) 及び (2) の議題について次のとおり各委員から意見があった。

(1) 相模原市立博物館活動評価書について

○評価書(案)の目次Ⅰ.総括、Ⅱ.経緯ならびにⅢ.活動評価に沿った各内容について吟味致したが、各項目は適切に取りまとめられて記述されており、特段の加筆や訂正箇所は見当たらなかった。

Ⅲ.活動評価の中で、「市民による評価」や「有識者意見」は、どの意見も含蓄に富んだ意義深いコメントであり、これらの意見が今後の相模原市立博物館の活動や運営に少しでも多く反映できるように実現・実行されるようになることを心から願う。

○全体的に適切にまとめられており、協議委員の意見も十分に反映されていると思われる。

○博物館活動評価書(案)は協議会の審議が充分反映されていると思われる。

○博物館の活動評価書は全体的によくできている。それぞれの活動評価についての市民による評価と有識者の意見を今後に活かしてほしい。

●今回いただいた意見を反映した上で評価書を取りまとめ、新年度に教育委員会へ報告できるよう準備を進めたい。

(2) その他の意見

○ホームページが非常に見やすく、使いやすくなったように感じる。今後、動画等の配信を通じて、より多くの市民が相模原市立博物館をさらに身近に感じやすくなることを期待する。

○私は、公民館で長く活動を続けてきた。しかし、このところの教育関連の法改正で公民館には社会教育の専門性を持った職員が不在となってしまった。そうした職員の不在は、教育施設としての役割を損ねたと感じている。加えて施設使用料の有料化も問題があると感じる。

今回、博物館協議会の委員に加えていただき手応えのある議論に参加でき

て嬉しく思う。外には見えなかった博物館の一端を知ることが出来た。

博物館活動評価書（案）の中で、ここ数年指摘されている課題は、十分な職員の配置と資金が潤沢にあれば実現するであろうことが推察でる。

市の財政がかなり厳しく多くは望めないが、合併で市域が大きくなったので、それなりの予算は付けるべきだと思う。

任期も残すこと数か月となった。コロナ禍が落ち着いて協議会の再開が待たれる。

○財政難の中、外部資金や国庫補助金・交付金の獲得、寄付金の可能性などについて、今後、具体策を検討する価値はあると思う。

また、博物館法改正論議も進んでいるので、それらに関する情報収集にも努める必要がある。

○博物館設立に尽力された地元の方々が中心となって今も活躍されていることを実感する1年だった。博物館の活動も淵野辺駅を中心としているように感じた。

高層マンションが連立する相模大野駅、橋本駅、町田駅付近の新規相模原市民への認知を広める方向へも目を向けていただきたい。

※伊勢丹跡にマンションが建設され、新たな市民が生まれる。博物館を是非とも知っていただきたい。

相模原市立橋本図書館や相模大野図書館の方が私は利用しやすいと感じる。町田市立図書館は、各々中央図書館、〇〇図書館となっており、HPも見易い。

●いただいた意見を踏まえ、財政面や人員等に様々な課題がある中でも、博物館が市民の生涯学習の場として機能していくうえで何が必要かを吟味し、活動を進めていきたい。

●次回は7月に開催予定である。

以 上

相模原市立博物館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	備 考	選出区分	出欠席
1	沼澤 俊宏	市立内郷小学校校長	学校教育	欠席
2	五十里 雅子	県立弥栄高等学校副校長	同	欠席
3	戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育	出席
4	林 さとみ	市立小中学校P T A連絡協議会副会長	同	出席
5	吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	出席
6	岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部特任教授	学識経験者	出席
7	浜田 弘明	桜美林大学人文学系長・教授	同	出席
8	藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 副所長	同	欠席
9	遠藤 正典	市民公募	市の住民	出席
10	谷内 夢賀子	市民公募	同	出席